

## 平成26年度第1回公民館運営審議会ワークショップ記録（抜粋）

1 班	2 班	3 班
<p>賛成意見（3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主グループ化した方が受講生のレベルが同等となるので、自由が利くようになり、スムーズな運営ができるようになる</li> <li>・使用料を負担することにより、講座への集中力がアップする（お金を出すから、しっかり学ぶのではないか）</li> <li>・趣味的要素が強くなるため、ニーズに合ったものを選び易くなり、出席率が高くなる</li> <li>・自主グループ化し、今後の主催講座は地域課題に取り組む内容を取り入れて行くのが望ましい。（たとえば、地域住民の居場所づくりのカフェ的な講座など）</li> <li>・自主グループ化により、講師及び受講生のベテラン化が進む。</li> <li>・焼津市方式の自主講座がスタートしてから、30余年が経った今、自主グループ化していく時期ではないか</li> </ul> <p>反対意見（2名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者、若者、男性などが参加するには、使用料が無料の方が参加しやすい</li> <li>・受講後5年間程度は、自主講座にして学ぶ楽しみを広げる方がよい</li> <li>・公民館利用者の多くは自主講座生であり、それは無視できないのではないか</li> <li>・利用者は、趣味や稽古事の方が参加しやすいので公民館に足を運んでいる。そういう意味では、サークル化はやむを得ないのではないか</li> <li>・自主講座のままの方が、趣味や稽古事を学ぶ機会が増える</li> <li>・自主講座のままの方が、身近な公民館で学びたい講座を選択しやすい</li> </ul> <p>その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回程度で、四季を感じる講座（趣味、稽古、講義問わず）を開催したらどうか</li> <li>・講師の人材発掘（新しい人、地域の人、専門的な知識が高い人など）を積極的に！</li> </ul>	<p>賛成意見（3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当然料金を支払うべき</li> <li>・グループの全員が使用料金を負担する形となるのなら問題はない（受益者が使用料金を負担することは当然である）</li> <li>・グループに力がつけば、社会的に活動する方向に誘導できる</li> <li>・これまで線引きがされたことがないことから、一度線引きすべき</li> <li>・グループの方が自主性を発揮できるから</li> <li>・グループであれば少人数の活動が可能であるから</li> <li>・長期受講者と初心者の技量差が大きくなってしまっているから</li> </ul> <p>反対意見（1名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道、華道などの芸術的（文化的）な講座は、人数が集まりにくいことから、グループ化をすることは難しい</li> <li>・自主講座をグループ化しても、現状が大きく変わるとは思えない</li> <li>・グループ化することにより、（やめてしまう講座があるため）全体の利用者が減少するのでは。現在の自主講座を整理していく方がよいのでは</li> </ul> <p>その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育法の利用制限を広く解釈できる運用を →地域課題の解決に取り組む諸団体もグループと同様に扱えるようにしてほしい</li> </ul>	<p>賛成(2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動が活性化する</li> <li>・運営を担うことにより自立する</li> <li>・このままでは行き詰る</li> <li>・特色を持った活動ができる</li> <li>・似た意見の人がいると活動しやすい</li> <li>・一つの公民館単位から地域を離れて活動することが可能になる</li> <li>・市民のニーズにより応えることができる</li> <li>・官民両立につながる</li> <li>・公民館がより地域に根差し近い存在になる</li> </ul> <p>反対意見(3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全面移行は問題点が多い (必要性や条件を十分に話し合う必要あり)</li> <li>・高齢者の居場所になっている(高齢者が多く利用していることは悪いことではない)</li> <li>・活動内容は変わらない(変える方が混乱を招く)</li> <li>・講座の見直し(内容を改善)</li> <li>・長く続けた方がよいケースも多々ある</li> <li>・活動場所の確保(競争心をあおる、活動そのものが難しくなる)</li> <li>・講師の確保</li> <li>・利用者の減少(利用者を増やそうとしている時期)</li> <li>・公民館がどう変わるか見えてこない(公民館の役割、何をするのか)</li> </ul>